

区政をきく (一般質問)

一般質問とは議員が区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。各定例会で行われます。令和7年第2回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

一般質問

| 6月26日(木) | | 6月27日(金) | |
|----------|---------|----------|---------|
| 石田 秀男 | 議員(自民) | 筒井 ようすけ | 議員(未 来) |
| 松永 よしひろ | 議員(未 来) | 塚本 よしひろ | 議員(公 明) |
| あくつ 広王 | 議員(公 明) | 吉田 ゆみこ | 議員(無所属) |
| のだて 稔史 | 議員(共 産) | まつざわ 和昌 | 議員(自 民) |
| 横山 由香理 | 議員(無所属) | 西本 たか子 | 議員(無所属) |

会派名は次の略語で記載しています。

自 民……品川区議会自民党・無所属の会
 公 明……品川区議会公明党
 維 新……品川区議会日本維新の会
 未 来……しながわ未来
 共 産……日本共産党品川区議団

一般質問

石田 秀男 議員 (自 民)



天王洲地区のまちづくり

問 アイルしながわの検討は、天王洲地区の発展、活性化を考える上で非常に重要だ。令和8年度までの暫定活用という位置づけだが、どのような検討が行われているのか。

答 暫定活用を一定期間延長する方向で、空調等の必要な工事の精査や施設の位置づけ、運用方法等の課題の整理を進めている。

高齢者熱中症見守り宅配事業

問 高齢者が本事業のサービスを悪用した詐欺に遭わずに、安心してサービスを受けられる体制づくりが重要と考えるが、区の考えは。

答 昨今の事件報道等を踏まえ、ご不安な方はインターホン越しの対応も行うなど十分に配慮し、事業が安全に実施できるよう取り組む。

5歳児健診

問 5歳児健診の実施に関して、保護者の不安を取り除くために、保護者アンケートの開始時期に合わせて保護者向け相談会を実施する必要があるのでは。

答 子どもの育ちや就学に関する不安を抱える保護者を対象として、学校心理士による相談会を実施する。

問 災害対策用井戸

答 災害時の生活用水確保のために新たに井戸を設置する場合、条件によっては数百万単位で費用がかかり、町会では負担できないという現実がある。令和8年度、町会等が新たに井戸を設置する場合の補助金の予算を計上するべきでは。

問 なぎさ会館とその周辺地区

答 区の動向を注視し、他区の先進事例等を踏まえながら検討していく。

問 区民委員会で、今後のなぎさ会館の在り方検討を進めていくとの報告があったが、検討スケジュール等はどのようにしていくのか。

答 地域の声や葬儀事業者などの意見を踏まえ、今年の秋頃までに廃止とするかどうかの結論を出す予定で検討している。

(その他の質問)
 ・保養所
 ・庁舎跡地の活用

一般質問

松永 よしひろ 議員 (未 来)



地域福祉の持続可能性とDX推進について

問 AIチャットボットによる住民相談対応、RPAによる定型業務の自動化など、デジタル技術の導入検討等の具体的な事例と効果は。

答 AIチャットボットは、区ホームページにおいて障害者支援に関する情報提供等を24時間行っている。RPAは、申請データの転記作業等で進めており、作業時間の削減等の面で成果を上げている。

町会・自治会の現状と高齢化の課題認識について

問 町会・自治会の持続可能な活動のためには、若年層等の積極的な参加が不可欠だ。若年層等が地域活動に参加しやすい環境を整備するため、検討している取組は。

答 児童参加地域事業補助金により、

町会・自治会事業へ若年層等の参加を促進している。また、若年層等の参加しやすいイベント等は、好事例集の作成を通じ町会・自治会活動の横展開を図っている。

ペット高齢化対策の推進について

問 ロープ設置や休憩スペースの確保など、区内の公園において高齢ペットも飼い主の方も利用しやすい環境の整備を進める考えはあるか。

答 公園の利用状況を注視し、状況を見極めていく。

災害時におけるペット同行避難の推進について

問 避難所でペットを受け入れる際の飼い主に対する具体的なルールについて、どのように定めているか。

答 しながわ防災ハンドブックでは、名札等の着用、予防接種等の実施、ケージ等の必要なものは全て持参することなど、同行避難する際の注意事項を具体的に明記している。

伝統文化継承への取り組みについて

問 地域住民が伝統行事に参加し、その価値を再認識できるような機会を増やすための具体的な施策は。

答 地域団体と協力して、喜多能楽堂との共催事業など伝統芸能に触れる機会の創出に努めている。

一般質問

あくつ 広王 議員 (公 明)



物価高騰から区民生活を守る支援策について

問 公明党が区長への緊急要望や代表質問で要望した物価高騰対策等の補正予算への具体的な反映を問う。

答 区内共通商品券のプレミアム率25%への引き上げと過去最大の発行総額15億円、飲料配布による高齢者熱中症見守り宅配事業、区内事業者へ省エネルギー対策・設備更新助成金、訪問介護の報酬減額分への給付を補正予算へ計上した。

命と尊厳を守る防災対策について(仮称)しながわ防災区民憲章の早期制定を強く求める。

問 東日本大震災から15年となる来年3月11日を機に制定すべく、具体的な取組を始動させていく。

答 災害時トイレ確保・管理計画の策定から判明した課題の解決とトイレ

問 レトラックの運営改善を求める。

答 トイレの不足分の速やかな整備や空白エリアの解消に取り組み、また誰もが使やすいトイレラックの円滑な運用に努めていく。

問 障がい者の未来を拓く選択肢の拡充について

答 既存施設での障がい児用シヨートステイの利用枠の新設を求める。

問 受入れ拡大に向けて検討を進める。新庁舎等での分身ロボットを活用した就労支援の導入を求める。

答 事業者と意見交換しており、今後の活用に向けて具体的に検討する。

問 社会に出て学び続けられるリカレント教育の環境整備を求める。

答 新たな就労形態について事業スキームや課題について検討していく。

自治体間の更なる連携と交流の深化について

問 連携都市と品川区の町会・自治会・商店街等の地域の担い手同士が顔の見える都市間交流を進め、長野県飯田市での宿泊割引やモデル事業として研修バスツアーの実施、疎開保険の積極的な協議、包括的な連携協定の締結を求める。

答 宿泊助成やバスツアー実施、疎開保険制度のスキーム構築、包括的な連携協定について検討していく。